

応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和2年10月発行

広尾っ子応援団だより (No.30)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



支援要望で実現した授業

学校は重点教育目標を達成するため、必要に応じて地域の支援を求めます。

单元名 「地域学習」（広尾中3年総合的な学習の時間）

テーマ ふるさとを伝える・・・町おこしのための提案

協力者 村瀬町長、雄谷企画課長、及川企画課長補佐

授業者 土井、三宅、普天間、新保、中浦、波多野、黒澤の各先生

1, 2年生の学習を発展させ、今後の広尾町の在り方を考えます。役場企画課に町に関する情報提供を依頼したところ、町長の考えを直接聞くことができる「ふれあいミーティング」を実施して下さいました。

町長から町の現状や今後の計画について説明を受け、質疑応答により理解を深めました。今後、各自の探究課題を設定し、焦点を絞って学習を進める予定です。



企画課の及川さん 雄谷さん



村瀬町長の説明



町の将来について質問する生徒



真剣に話を聴く生徒

- 広尾高校をSSHやSGHのような学校にする考えはありませんか。
- これまで、「町が無くなる」と思うようなことはありましたか。
- ラグビーチームができるようですが、有名選手を出した野球ではないのですか。
- 広尾町を良くするために心がけていることは何ですか。
- カジノ施設をつくる考えはありますか。
- 核廃棄物の処理施設が問題になっていますが、広尾町は希望しないのですか。

CSアンケート調査の協力をお願いします

広尾っ子応援団本部（本部長：田中副町長）では、導入から2年目を迎えた、広尾町のコミュニティ・スクールの現状を把握し、今後の推進の参考にするため、全世帯及び教職員を対象にアンケートを実施することにしました。

アンケート用紙は、広報ひろお11月号と一緒に配布される返信用封筒の中に入っています。締め切りは11月16日（月）です。

学齢期の子どもがいる・いないにかかわらずお答えできる内容になっていますので、多くの方のご協力をお願いいたします。

【質問の例】

- 学校をよくすることで地域そのものがよくなる（そう思う、そう思わない）
- 学校のボランティア的な活動をしてみたい（当てはまる、当てはまらない）
- 学校の教育活動には、地域の意見が反映されている（当てはまる、当てはまらない）
- 地域が、学校の予算に意見を述べる（賛成、反対）

応援メッセージをいただきました！！

メッセージはすべての小中学校に届けています。

先月（9月）のことです。

家の前で花の手入れをしていた時、1組の親子がこちらに向かってきます。

子どもは小学校に入りたてくらいです。

近くを通りかかったとき、その子は親に言われるのでもなく、誰よりも先にあいさつをしてくれました。
（70代男性 町内 10月6日受）

朝、私が、家の外でこまごましたことをしていると、「おはようございます」とあいさつをして登校していく小学生がいます。

私は、「いってらっしゃい」と返します。

その子は、帰りに、「こんにちは」と言ってくれます。

私は、草取りの手を止め、「おかえりなさい」と言います。

こんな何気ない日常を楽しんでいます。
（80代女性 町内 10月6日受）

今日午後から広尾中学校の生徒が町内ごみ拾いの活動 ありがとうございます。

上杉鷹山の「郷中教育」 地域を愛し愛国を養い それが国際愛に育成され 思いやり文化の啓発 何より品性を感じた次第です。

「人物をつくる」という学校の教育に感銘を受けたところです。

教職員、生徒本当にありがとうございました。（70代男性 町内 10月8日受）